

昭和42年度使用高等学校用教科書について調査研究を行ない、研究資料を作成し、教科書採択の適正化を図る。

(2) 調査研究機関

上記の調査研究を進めるため、昭和42年度使用高等学校用教科書調査員を委嘱する。

なお、調査員の氏名は、公正確保のうえから公表しなかった。

(3) 調査研究は、次の教科書種目について行なった。

- 国語（現代国語）
- 社会（倫理・社会、日本史、地理A、地理B）
- 数学（数学I）
- 理科（物理A、物理B、化学A、生物、地学）
- 英語（英語B）

(4) 研究資料は、各学校における教科書研究の基礎資料として活用するために配布した。

(5) 調査研究の一般方針

- ① 調査研究は、教科書目録（高等学校用）に登録されているもので、発行者から送付された教科書について行なう。
- ② 調査研究にあたっては、公正な立場にたつて客観的に妥当性をもった研究資料を作成する。

(6) 調査研究の観点

- ① 分量について
 - ア. 全体の分量は、学習指導要領に示された内容や標準単位数にてらして適切であるか。
 - イ. 章、節ごとの分量は、内容の重要性に応じて適切に配当されているか。
- ② 教材の選択について
 - ア. 教科の目標、科目の目標を有効に達成することができるように、教材が選択されているか。
 - イ. さし絵、写真、図表などの資料が、教科の目標、科目の目標にてらして必要なものが選択されているか。
 - ウ. 教材がよく精選、洗練され、学習の発展、充実をはかるようくふうされているか。
- ③ 組織、配列について
 - ア. 指導内容は、組織的、発展的に配列され、効果的な学習ができるようになっているか。
 - イ. 指導内容は、生徒の発達段階に応じて組織されているか。
 - ウ. 指導内容は、教科のもっている論理性に応じて組織されているか。
 - エ. 各指導内容間の関連づけが適切に行なわれているか。
 - オ. 指導内容は、適切にまとめられた区分によって構成され、各区分の目標がはっきりしているか。
 - カ. 他教科や他領域との関連がよく考慮されているか。
 - キ. 注、さし絵、写真、地図、図表などの資料が、適切な位置に配置されているか。
- ④ 表現、程度について
 - ア. 表現は冗長、粗雑でなく、生徒に理解しやすいものであるか。

イ. 内容の説明のし方は、適度に具体的であり、その学年の生徒にふさわしい程度に論理的であるか。

ウ. 生徒の生活経験および興味に対する配慮がなされているか。

エ. 本文、図表、設問などに、生徒の能力にてらして高すぎ、または低すぎるものはないか。

オ. 目次、索引、注、汎例などが必要に応じて適切に用意されており、使用に便利であるか。

2 教科書研究事業（教科書研究協力校）

(1) 目的

学校における実際の使用を通して教科書の学習指導上の問題点、改善点を分析、研究し、この結果を教科書の検定等の参考に供し、もって教科書の内容および学習指導の改善に資することを目的とする。

(2) 研究主題

年間の指導計画と教科書との関連を明らかに、との使用上の諸問題を教材の選定、程度、組織、配列、分量等の面から総合的に分析、研究する。

(3) 研究教科

中学校技術・家庭（男子向き）1～3年用

(4) 研究協力校

二本松市立二本松中学校

(5) 研究経過

研究協力校は与えられた研究主題に基づいて教科書の内容を研究し、東京都で開催された関東地区教科書研究協議会に3名出席し、研究協議した。

なお、研究成果については「教科書研究協力校研究報告書」として文部省に提出した。

3 教科用図書無償給与

昭和41年度は、小学校第1学年から第6学年までを対象に無償給与された。

なお、昭和42年度は、中学校第1学年までが無償給与の対象となるので、次の日程で、市町村教育委員会の教科書担当者に対し、教科書無償給与事務説明会を開催、中学校への指導の徹底を期した。

昭和42年度教科書無償給与事務説明会

(1) 目的

教科書無償給与関係事務について円滑な処理をはかるため。

(2) 日時・場所

- | | | |
|-------|-----|-------------|
| 3月4日 | 9時 | 会津若松市立第一中学校 |
| 3月9日 | 10時 | 郡山市立金透小学校 |
| 3月10日 | 10時 | いわき市立平第三小学校 |
| 3月11日 | 10時 | 原町市立原町第一小学校 |
| 3月13日 | 10時 | 福島市公民館 |
| 3月14日 | 10時 | 棚倉町立棚倉小学校 |

(3) 協議事項

昭和42年度無償給与事務処理について